

がん教育プログラム

モジュール

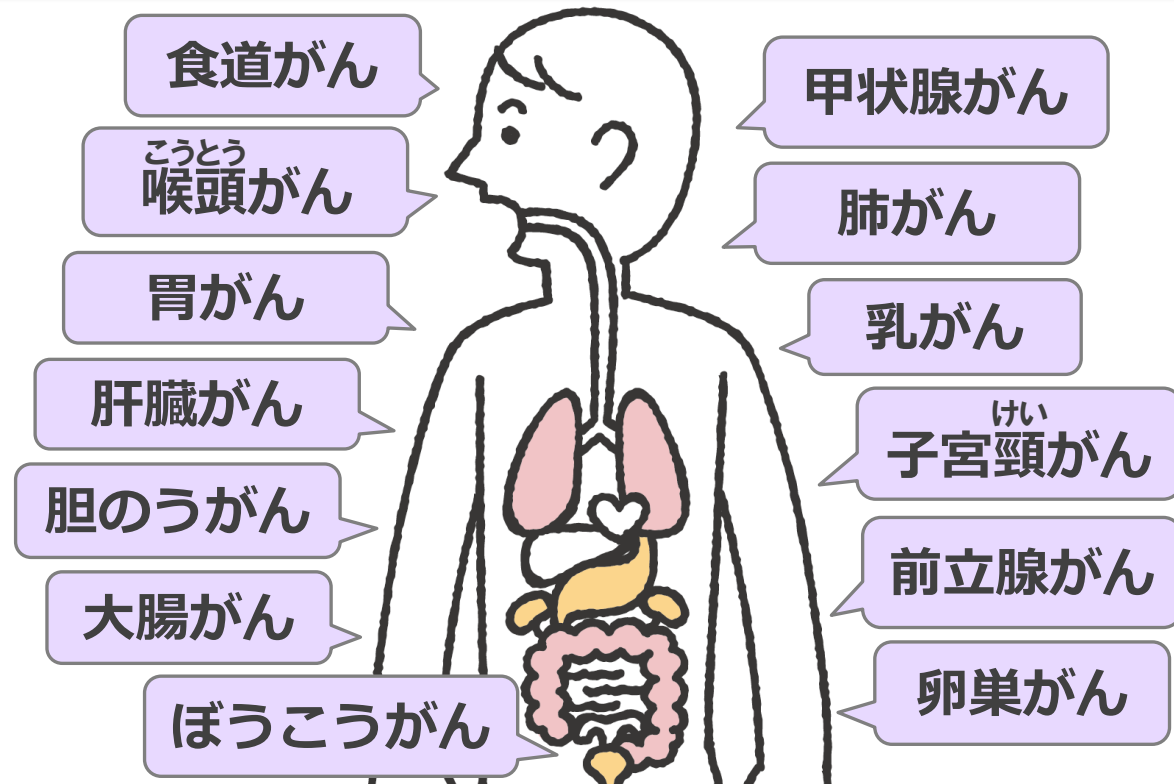
3

がんの 発生と進行

文部科学省 がん教育推進のための教材
「3 がんの経過と様々ながんの種類」対応

がんは体のどこに
できるのだろうか

細胞が分裂する全ての臓器に がんができる可能性がある

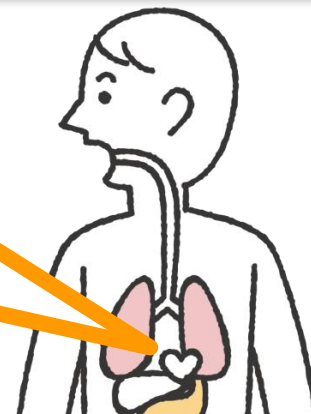


細胞が分裂するときの変異により
がん細胞ができるから



がんのできにくいところはあるのだろうか

心臓の筋肉
(心筋)



心臓の筋肉はほとんど細胞分裂しない

細胞の変異が起こらない

がん細胞ができにくい

がんはどのように
進行するのだろうか

Q

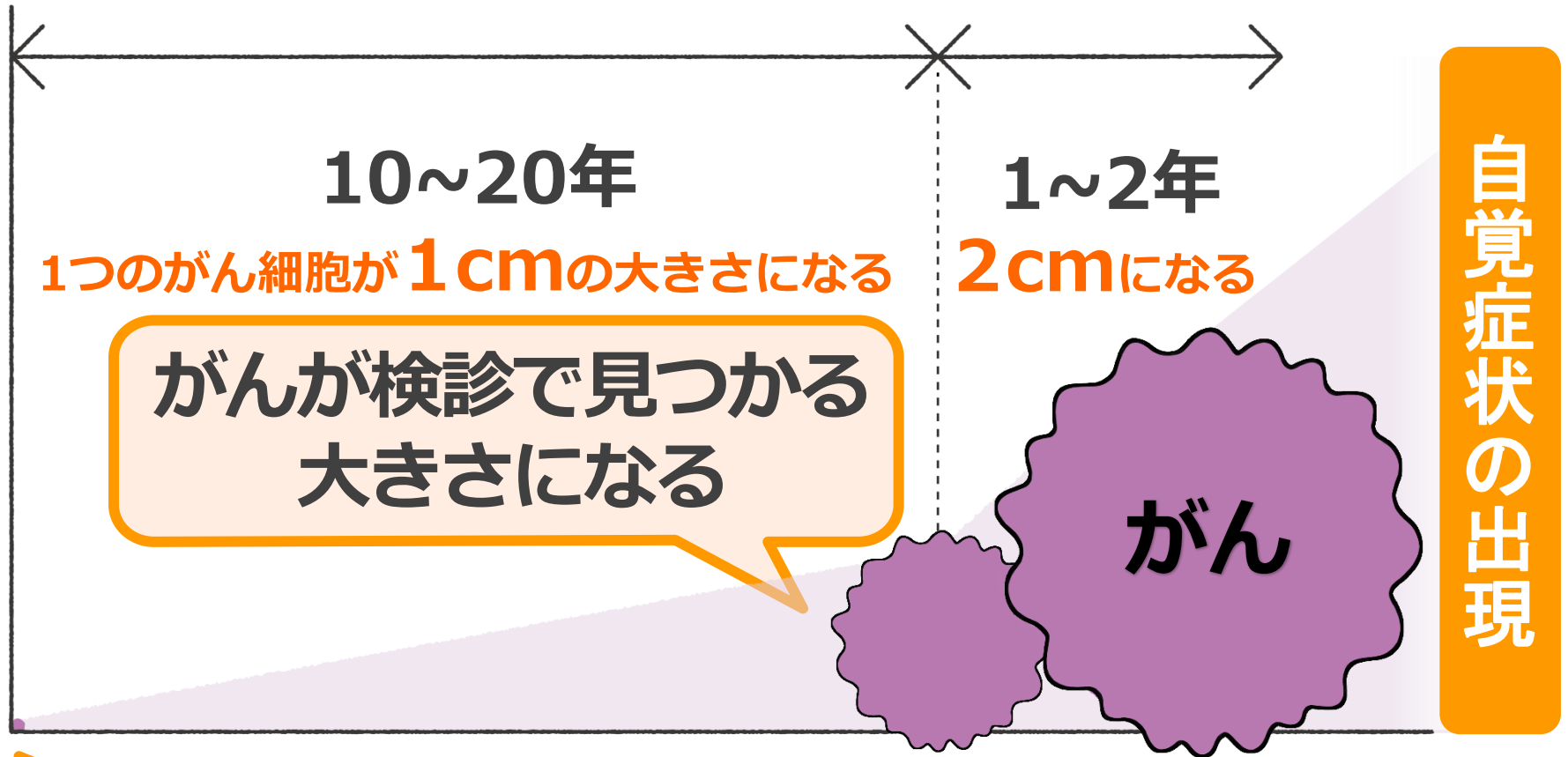
次のやりとりから
どんなことがわかるだろう

がんが見つかりました。
まだ小さく、
治る可能性が高いです。



わたしは
元気そのもので、
何の症状も
ありませんが…。

がんの進行と自覚症状が出るまで



細胞が
変異する



自覚症状が出る前に
がんを見つける方法は何だろう

症状がなくても
検診を受ける

がんは大きくなるまで
自覚症状がありません



振り返り

がんは細胞が分裂する全ての臓器にできる可能性がある。

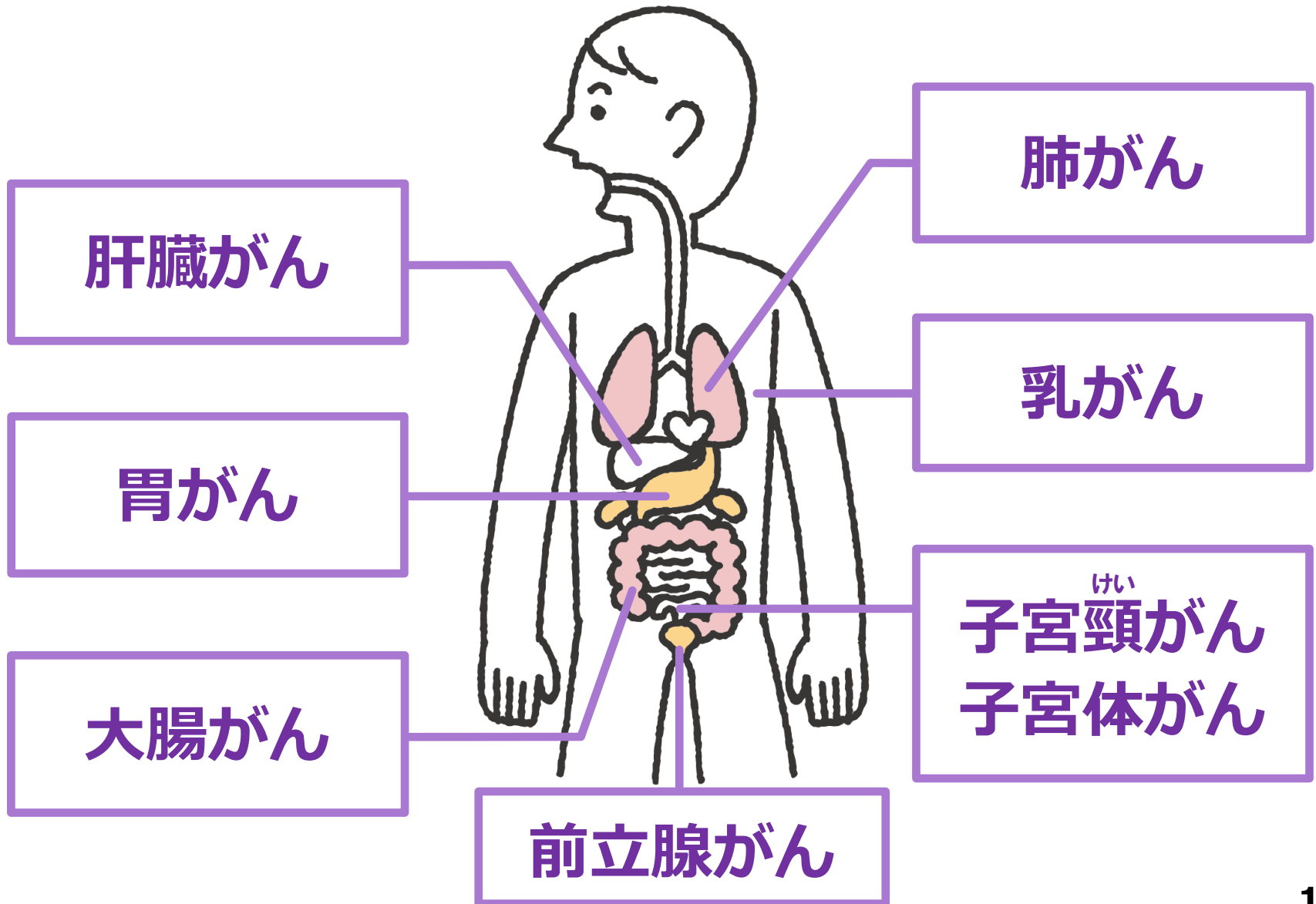
がんは大きくなるまで自覚症状が出ない。

ポイント

- 症状がなくても検診を受ける。
- 症状がある場合は速やかに病院へ。

資料

主ながんの種類



主ながんの種類と特徴など

がんの名称	特徴など
胃がん	<ul style="list-style-type: none">・ピロリ菌の感染が発病に関わっていると考えられている。
大腸がん	<ul style="list-style-type: none">・運動不足や肥満、大量の飲酒などが発病に関連している。
肺がん	<ul style="list-style-type: none">・我が国では死亡者数が最も多く、特に男性に多い。・最大の原因は喫煙であり、たばこを吸う人が肺がんにかかる確率は、男性では吸わない人の4～5倍にもなる。
肝臓がん	<ul style="list-style-type: none">・主な原因はB型及びC型の肝炎ウイルスの感染である。・大量の飲酒の習慣も、肝臓がんになるおそれがある。

主ながんの種類と特徴など

がんの名称	特徴など
乳がん	<ul style="list-style-type: none">乳房内にがんのかたまりができるため、乳房の状態に日頃から関心を持ち、自分の乳房の状態を知ること、乳房の変化（しこり、皮膚のへこみなど）に気づき、医師へ相談すること、40歳になったら乳がん検診を受けることが重要である。
けい 子宮頸がん 子宮体がん	<ul style="list-style-type: none">子宮のがんには、子宮の入口（頸部）にできるものと、子宮本体（体部）にできるものがある。頸部にできるものでは、初期の段階では症状がないことが多い。特に症状がなくても、20歳を過ぎたら、2年に1回子宮頸がんの検診を受けることが勧められている。
前立腺がん	<ul style="list-style-type: none">診断方法が普及したことで、前立腺がんと診断される人が増加している。かなり進行した場合でも適切に対処すれば、通常の生活を長く続けることができる。

日本の主ながん罹患数

1位 大腸がん

2位 胃がん

3位 肺がん



男女別では
男性の1位は「前立腺がん」
女性の1位は「乳がん」

日本の主ながんによる死亡数

1位 肺がん

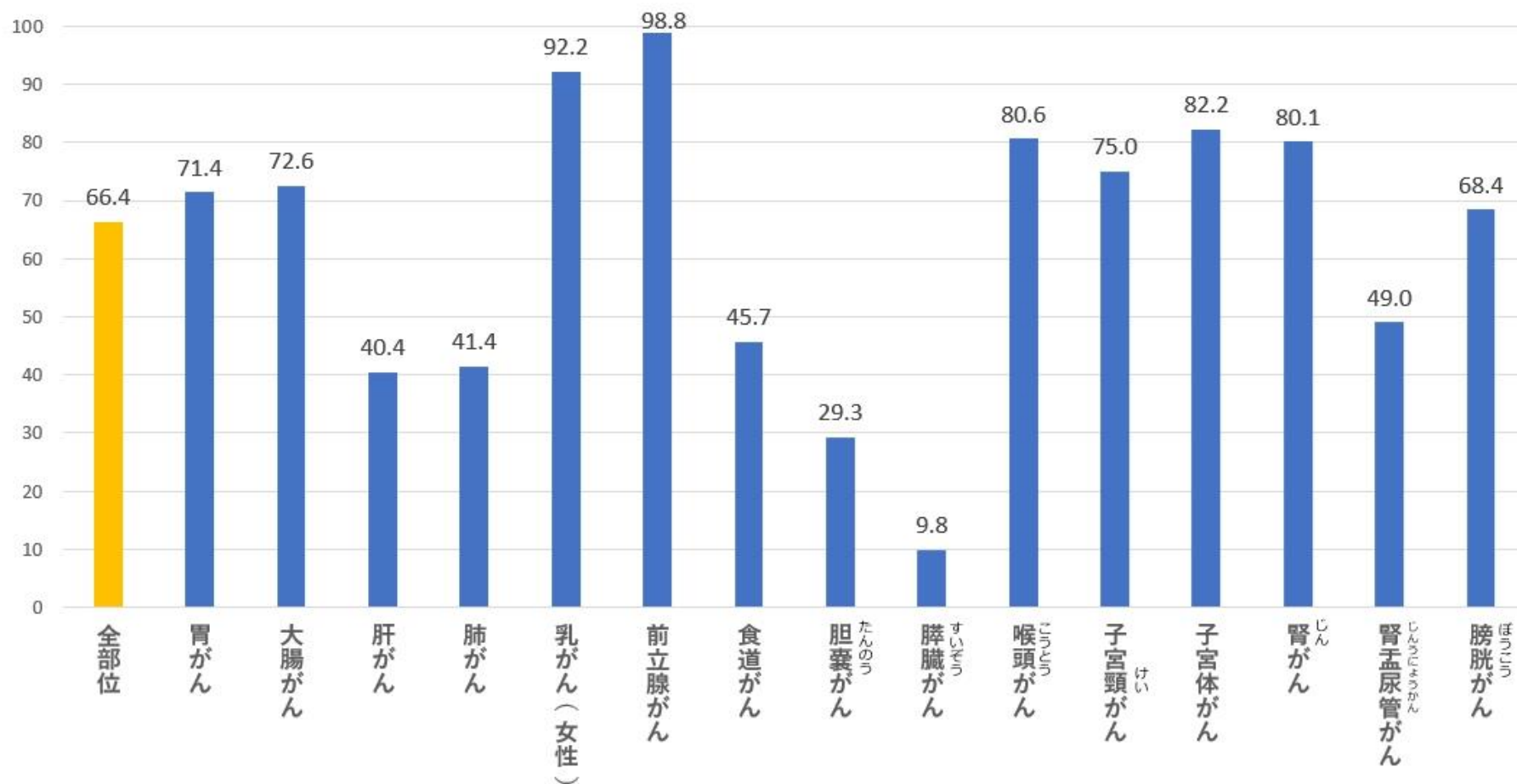
2位 大腸がん

3位 胃がん



男女別では
男性の1位は「肺がん」
女性の1位は「大腸がん」

がんの5年生存率



国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計（2010-2011診断例）より作成

※がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合が、日本人全体で5年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表す。 **16**